

報道関係者各位 Press Release

> 2024年3月18日 株式会社 ROBON

# Japan IT Week【春】に代表荒木が登壇 「データドリブン経営を実現するためのデータマネジメント」を解説 同展示会に出展「欲しいデータを」「欲しい時に」扱える SaaS『Mashu』の体験可能

株式会社 ROBON(本社:東京都新宿区、代表取締役:荒木 岳夫、以下当社)は、2024 年 4 月 24 日(水)13 時30 分~第 33 回 Japan IT Week 【春】にて「データドリブン経営を支えるデータマネジメントの必要性とその実現に向けて」をテーマにセミナー登壇することをお知らせします。

同時に、当社は、2024年4月24日(水)~26日(金)に開催される「Japan IT Week【春】 データドリブン経営 EXPO」 に出展いたします。



Japan IT Week 【春】は日本最大(※)の IT 展示会で、本年度は 4 月 24 日(水)~26 日(金)までの 3 日間東京ビッグサイトで開催されます。

※最大とは同種の展示会との出展社数、製品展示面積との比較。

# ■金融機関の大規模プロジェクトのマネジメントから経営に転身 データマネジメント必要性を解説

Japan IT Week 【春】では、セミナーが複数開催され、当社代表の荒木が24日(水)13時30分~登壇します。 データドリブン経営に取り組まれている企業も、これから取り組まれる企業も、集めたデータを活用する際には様々な壁があります。 具体的には、データを活用する際に着目すべきデータを発見するのに苦労しています。たとえ運よく発見できたとしても、そのデータを活用するためのシステムやデータの準備に、多くの時間とコストがかかってしまいます。データの発生元システムのオーナーであるデータ所有者と情報システム部門などのデータ管理者、そしてデータを活用したいデータ利用者間のデータに関するコミュニケーション手段が存在しないケースも珍しくありません。これらの課題を解決するには「データマネジメント」が有効であり、本セミナーにて解説いたします。

また、セミナー登壇に加えて、当社は「Japan IT Week【春】データドリブン経営 EXPO」に出展いたします。

当社の出展ブースでは、オンプレミスからデータレイクまで、様々なデータベースに格納されたデータのデータであるメタデータの管理を実現する『Mashu』をご紹介いたします。ブース内では、サービスのデモや事例紹介、導入相談を実施いたします。

# ■セミナー概要

テーマ:「データドリブン経営を支えるデータマネジメントの必要性とその実現に向けて」

日時 : 24 日 (水) 13 時 30 分~14 時 15 分 登壇者 : (株) ROBON 代表取締役 荒木 岳夫

会場:東京ビックサイト

申し込み: https://biz.q-pass.jp/f/8416/itw\_haru24\_seminar/seminar\_register

\*セミナーへの参加には事前の登録と申し込みが必要となります(無料)。

主催 : RX Japan 株式会社

# ■登壇者 プロフィール

(株) ROBON 代表取締役 荒木 岳夫

1991 年 3 月、東京工業大学理学部卒業。株式会社オージス総研に入社。オブジェクト指向 4GL のコンパイラと実行環境の日本語化に従事し、PC と UNIX の OS、ネットワーク、データベースの API レベルでの制御に精通する。その後、数多くのオブジェクト指向によるアプリケーション開発プロジェクトのリーダを務める。

2002 年 2 月、株式会社豆蔵に入社。金融機関における基幹システム再構築などの大型プロジェクトのマネジメントを行う。 2019 年 4 月、豆蔵 K2TOP ホールディングスグループのグループ内ベンチャーとして、株式会社 ROBON を設立。 クラウドネイティブな SaaS により、自動的にデータとシステムをつなぐことで業務のあり方の改革を目指している。

# ■SaaS『Mashu』とは 蓄積するビッグデータの整理不要、そのままを一元管理

オンプレミスから、未加工のビッグデータを多様な形式のまま保管するデータレイクまで、各種データベースに格納された活用可能なデータのメタデータを一元管理できる SaaS サービスです。

「2025 年の崖」の DX レポートから 5 年。情報が個々に保管されサイロ化されたレガシーシステムの技術的負債は重く、データはバラバラに管理されたまま活用できていません。多くの企業で DX 化の推進が行われていますが、新システムを導入しても企業の財産となる蓄積データが活用できない状態があると聞きます。しかし、これまでの膨大な量のデータを整理するには、時間も手間も、コストもかかるため、データはあっても発生元システム以外の事業に生かされていない実情があり、DX 化が進まない要因の 1 つとなっていると言えます。

当社は、そのような企業の課題からデータマネジメントこそ DX による改革が必要と考え、「たとえデータがバラバラでも『欲しいデータを』『欲しい時に』『欲しい場所で』」を実現する Data Fabric シリーズの第一弾として、メタデータ管理サービス「Mashu」を開発しました。

#### 【サービス概要】

名称 : Data Fabric 「Mashu」

価格:「テーブル数」+「ユーザー数」の従量制 月額サブスクリプション

詳細はこちらを参照ください。https://services.robon.co.jp/ja/kb/mashu/etc/price

発売年月日:2023年8月4日

販売場所 : https://mashu.robon.co.jp/

詳細 URL : https://services.robon.co.jp/fabric

## ■イベント出展概要

イベント名: Japan IT Week 【春】 データドリブン経営 EXPO

会期 : 2024年4月24日(水)~26日(金) 10:00-18:00(最終日のみ17:00まで)

会場:東京ビックサイト

小間番号 : 11-31

主催 : RX Japan 株式会社

## 【サービスに関するお客様問い合わせ先】

メール : <u>support-fabric@robon.co.jp</u>

電話番号 : 03-6775-7010

担当:営業部(小川、石塚、武田)

#### ■ ROBON について

近い将来、「ビジネスのデジタル化」がホワイトカラーの主たる職務となります。これまで、「ビジネスのデジタル化」を担ってきたのは、 我々IT 産業でした。そして、IT 産業は、労働集約的でヒトに依存したビジネスモデルによって、これに対応してきました。

経済産業省の調査によると、2019 年をピークに IT 産業への入職者が退職者を下回ると予測されています。このため、産業人口が減少し、従事者の平均年齢は 2030 年まで上昇の一途を辿ります。この少ないエンジニアを IT 産業だけでなく、デジタル・トランスフォーメーションを目指す全ての企業が奪い合うことになると考えられます。

ROBON(ロボン)は、このような時代に対応した新しいビジネスモデルを実現するために設立しました。社名は「全ての業務にロボットをオン(実装)する」ことに由来します。また、「IT 技術で全てのお客様の生産性を飛躍的に向上させる」ことを経営理念としています。

お客様の生産性を飛躍的に向上させるためのロボットを実装するターゲットは「専門家に依存した業務」です。「専門家に依存した業務」は、ビジネスのスピード、コストのボトルネックになりやすいと言えます。これをソフトウェアによって自動化し、フル・マネージドのサービスとして提供することでボトルネックを解消していきます。

ROBON のコーポレート・メッセージである「未来をいち早く今に取り込む会社」として、お客様から自社の働き方まで改革を目指しています。

## ■会社概要

商号 : 株式会社 ROBON

代表者 : 代表取締役 荒木 岳夫

所在地 : 〒163-0726

東京都新宿区西新宿 2-7-1 新宿第一生命ビルディング 26 階

設立 : 2019 年 4 月 資本金 : 8,000 万円

株主構成 : 株式会社豆蔵 K2TOP ホールディングス 100%

URL : https://www.robon.co.jp/

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

広報担当:小川 淳一

TEL: 03-6775-7011 FAX:03-6775-7013 E-mail: support-fabric@robon.co.jp